

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

外科周術期パスにおけるアセトアミノフェン注・抗菌薬のPBPM導入による
薬剤師の監査実施率の向上

[研究責任者]

江南厚生病院 薬剤部 青山佳代

[研究の概要]

外科周術期クリニカルパスにおいて、術後感染予防抗菌薬やアセトアミノフェン静注液に関して、薬剤師が疑義照会後に処方修正となる際、薬剤部の注射セット締切り時間を超えることで臨時注射処方となり、監査実施率が低下するという医療安全上の課題がありました。これに対応するため、薬剤師が代行修正を行うプロトコールに基づく薬物治療管理（PBPM）を導入しました。本研究では、PBPM導入前後における修正処方に対する薬剤師の監査実施率の変化を検証することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024年10月1日から2024年10月31日、2025年3月1日から2025年3月31日に外科の周術期クリニカルパスを使用した患者。

●利用するカルテ情報

外科周術期クリニカルパスにおける術後感染予防抗菌薬やアセトアミノフェン注射処方、修正歴 等

[研究期間]

研究実施許可日～2025年10月31日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 薬剤部 青山佳代

電話 0587-51-3333 FAX 0587-51-3337